

鵜沼市民センター

建替えに向けた意見交換会（第5回）



鵜沼市民センター

これまでの振り返り

これまでの振り返り

【再整備事業の流れ】

- 令和3年9月 第3次藤沢市公共施設再整備プラン検討事業に位置付け
- 令和4年3月 鵠沼地区郷土づくり推進会議から「鵠沼市民センター・公民館施設の建替えに関する提言書」を市長に提出
- 令和6年5月 再整備基本構想策定に係る業務委託契約を締結
- 令和7年3月 第4次藤沢市公共施設再整備プラン実施事業に位置付け
- 令和7年5月 再整備基本・実施設計業務委託契約を締結

【意見交換会の開催】

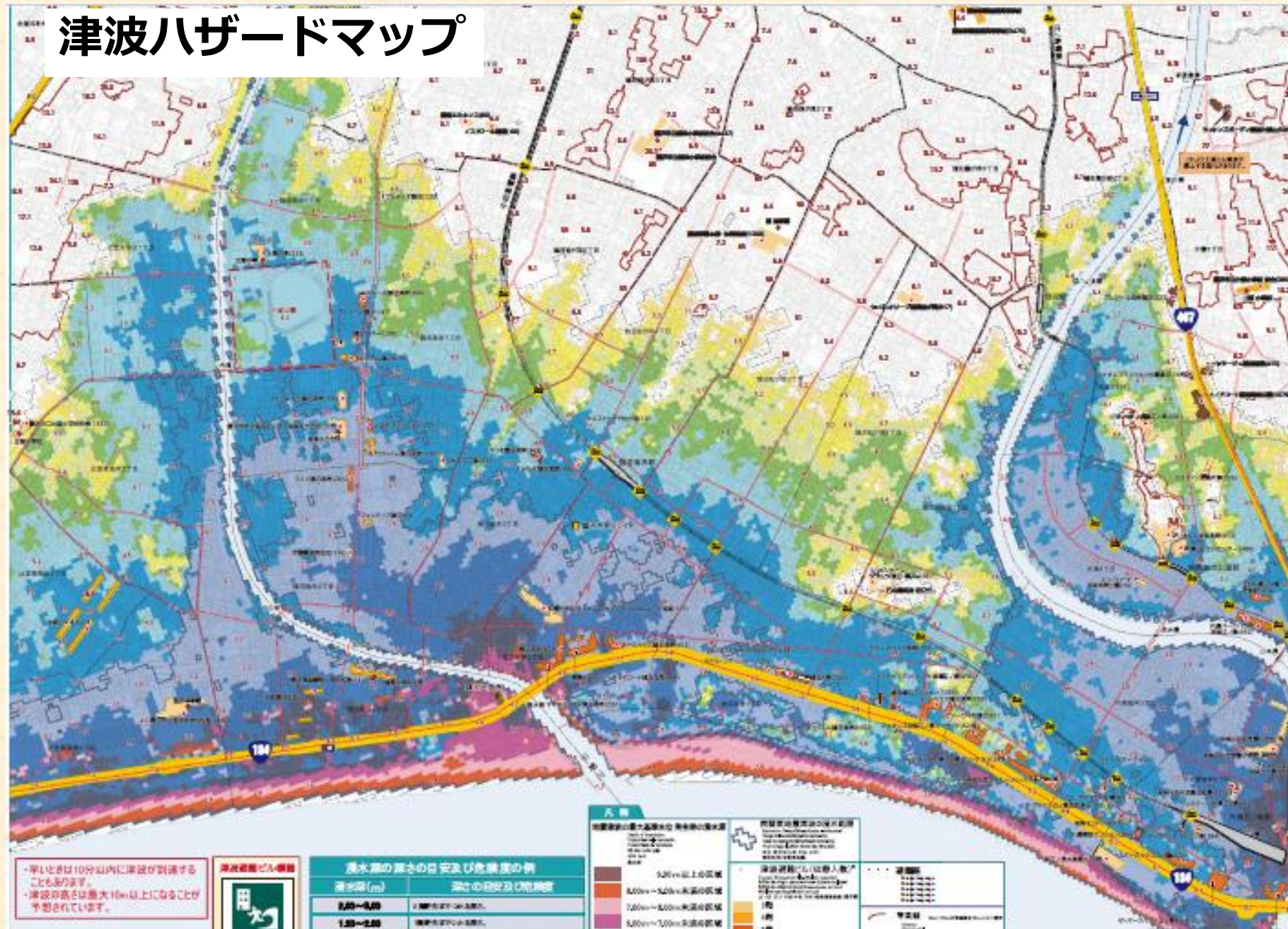
- ①令和5年5月 ②令和6年2月 ③令和6年9月 ④令和7年1月 ⑤令和7年11月

【市議会への報告】

- 令和5年2月 「鵠沼市民センター・公民館等施設の現状と課題について」
- 令和5年12月 「鵠沼市民センター・公民館等再整備事業の検討状況について」
- 令和6年12月 「鵠沼市民センター等再整備基本構想の策定について（中間報告）」
- 令和7年2月 「鵠沼市民センター等再整備基本構想の策定について（最終報告）」
- 令和7年12月 「鵠沼市民センター等再整備基本設計の進捗状況について」

これまでの振り返り（津波避難）

津波ハザードマップ



これまでの振り返り（津波避難）

津波浸水予測

◆基準水位

津波浸水深にせき上げ高を
考慮した最大到達水位

令和3年3月に県から「津波災害
警戒区域」に指定されたことにより
基準水位が示された
(津波防災地域づくりに関する法律)

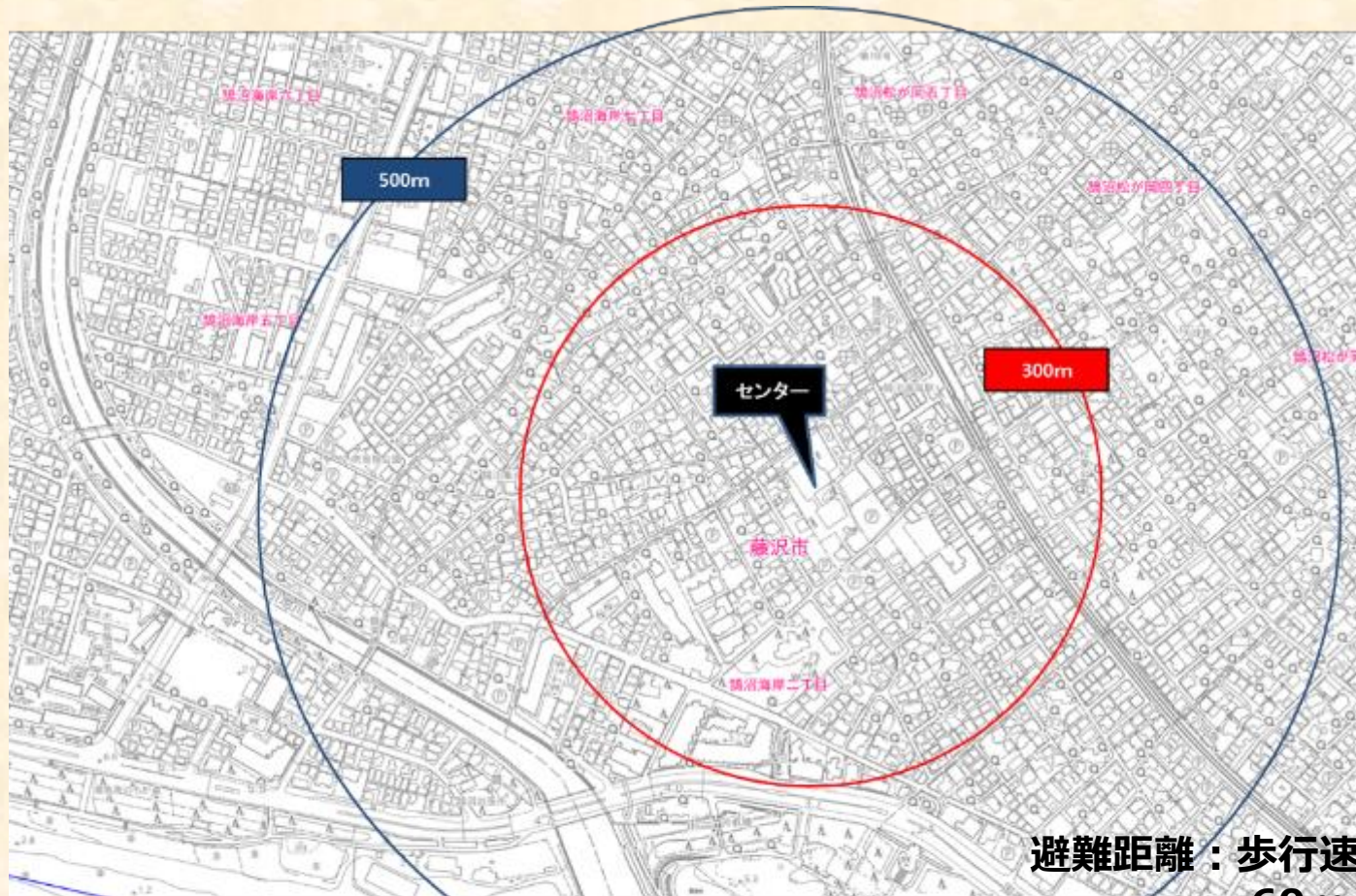
現在地では最大で約3.4m

最短津波到達予想時間約8分



これまでの振り返り（津波避難）

津波時の鵜沼市民センターへの最大避難者想定



◆最短の津波到達時間を8分と想定すると

→避難可能距離：300m

- ・300mでは鵜沼海岸2丁目、3丁目が範囲内
500mに広げると1丁目が含まれる

※居住者数（夜間人口）

1丁目：1,393人 2丁目：1,963人
3丁目：1,552人 **合計：4,908人**

仮定1：2丁目、3丁目住民の50%が避難

→ **1,758人**

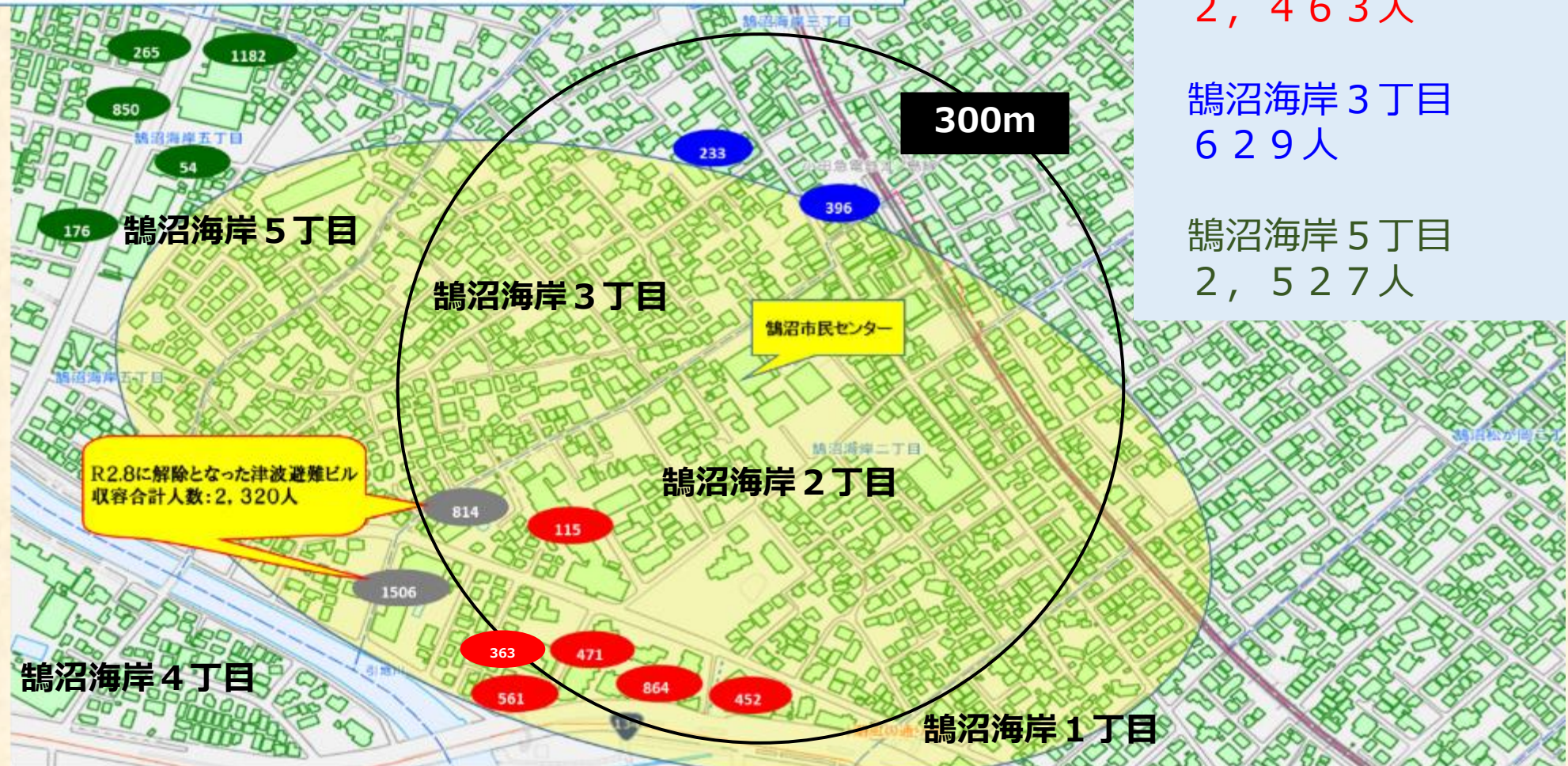
仮定2：1丁目まで範囲を広げると

→ **2,454人**

避難距離：歩行速度×{(津波到達予想時間)-(避難開始時間)}
60m/分×{(8分)-(3分)} = 300m

これまでの振り返り（津波避難）

鵜沼海岸周辺の津波避難ビルの状況



これまでの振り返り（基本構想）

再整備方針

- 核となるコンセプト



地域住民が安心・安全に暮らせるまちづくり

津波に対する防災機能を強化し、指定緊急避難場所としての基準を満たすことで、災害からより多くの人命を守り、地域住民の安心・安全な暮らしを実現する施設



鵜沼地区における地域共生社会の実現

子どもから高齢者まで、様々な目的を持った方々が集い交流することで、地域コミュニティが活性化するとともに、地域共生社会の実現に寄与することができる施設

- その他

- 地域の生涯学習及びサークル活動の拠点として、幅広く柔軟かつ機能的に対応できる施設
- 地域団体の活動拠点として機能する施設
- 地域住民の最も身近な行政窓口としての機能充実に配慮された施設
- 地域の歴史、文化の保存、継承を持続し、常に地域に発信することが可能な施設
- 環境性能の高度化が図られた施設

これまでの振り返り（基本構想）

施設の規模

管理諸室

事務室、更衣室、待合ロビー、備蓄倉庫、子ども室、管理倉庫、電気・機械室、便所など

930m²

センター貸室

談話室、学習室、文化活動室、創作実習室、和室、ホールなど

980m²

体育室

アリーナ、器具庫、更衣室、便所など

510m²

複合化施設

包括支援センター、市民図書室、郷土資料展示室、鵠南子どもの家、湘南なぎさ荘、駐輪場、消防団第4分団器具置場など

2,620m²

共有スペース

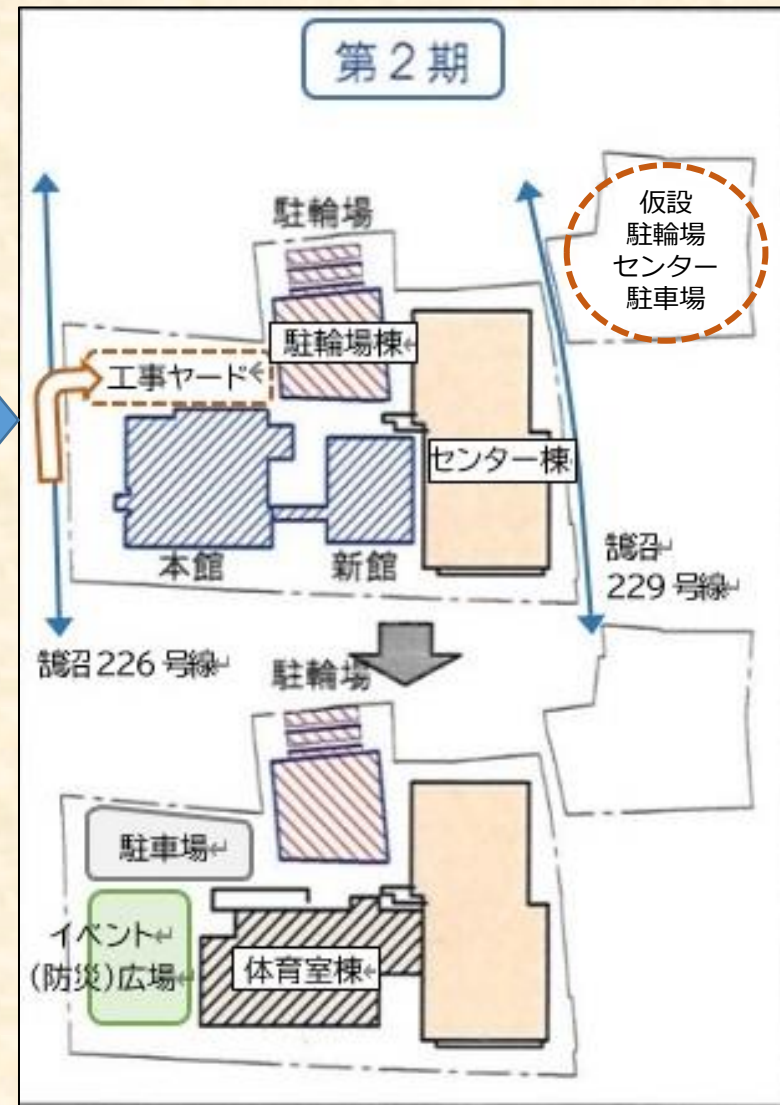
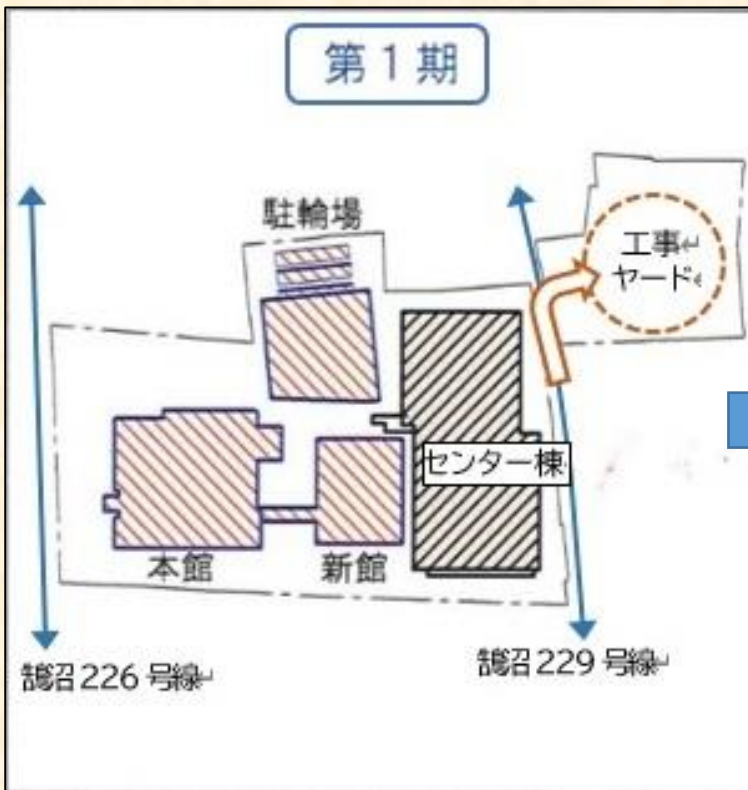
駐車場、階段・廊下、カフェスペース、フリースペースなど

1,380m²

計画延床面積≒6,400m²

これまでの振り返り（基本構想）

段階整備計画



【第1期工事】

- 敷地①東側空地に、先行してセンター棟を建設
(敷地③を工事ヤードとして利用)



- センター棟オープン後、既存のセンター本館・新館を解体



【第2期工事】

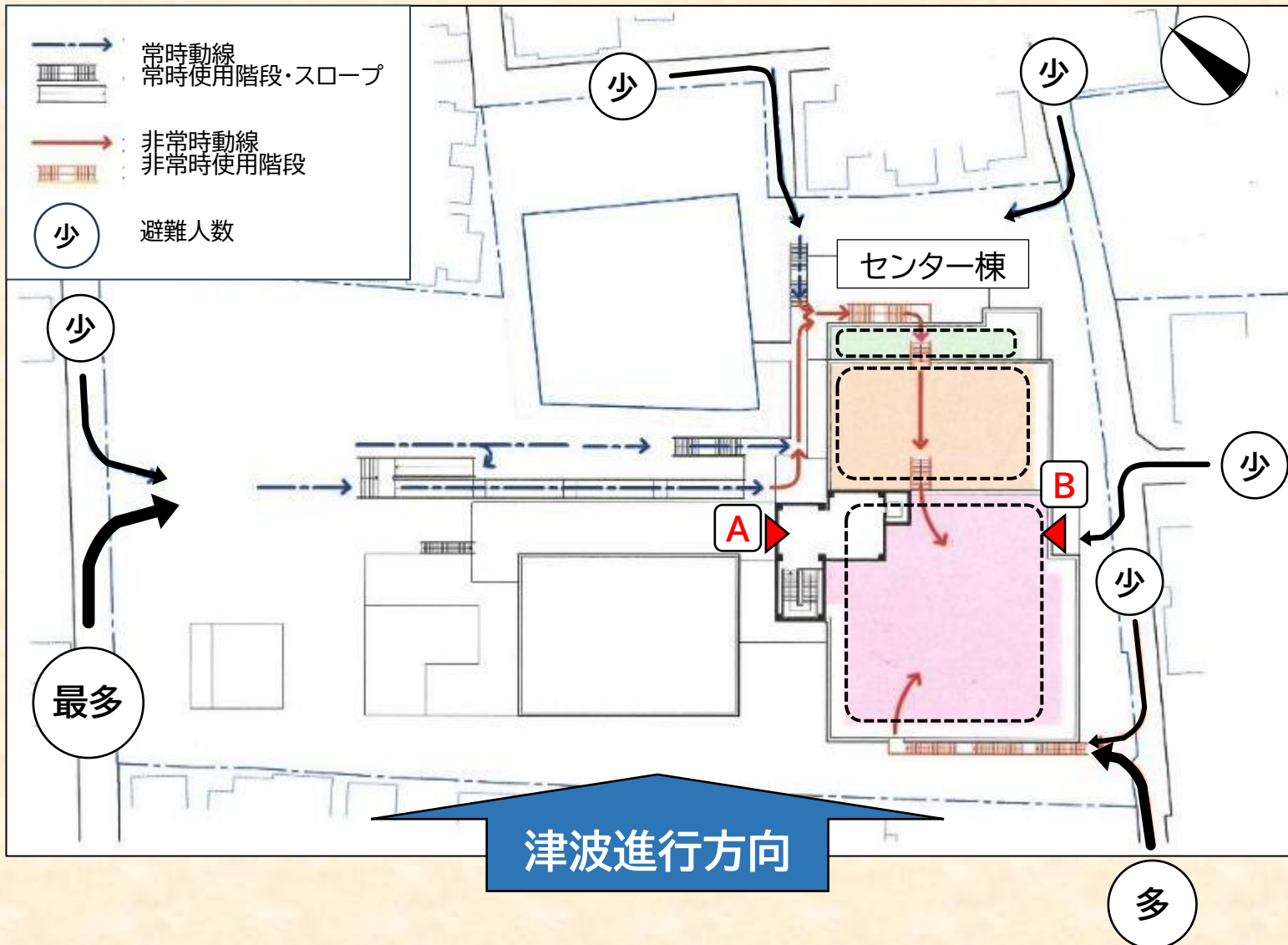
- 既存センター跡地に体育室棟を建設
(敷地③を仮設駐輪場、センター駐車場として利用)



- イベント（防災）広場や駐車場等を整備

これまでの振り返り（基本構想）

津波避難計画



- 大規模な地震が発生した際、最短の津波到達時間が8分とされており、想定される最大避難者数が1,760人
- センター棟は津波に対する指定緊急避難場所としての機能を有し、屋外の非常階段、スロープを利用して、2階・3階の屋上に約1,900名が避難可能
- A・Bの出入口には、自動開錠機能を持ったキーボックスを設置することで、緊急時にはセンター建物内にも避難が可能とし、現状のプランにおいては2階・3階居室に約2,700名が避難できる想定

基本設計の進捗状況

基本設計の進捗状況

基本設計における取組の概要

(1) 敷地条件等の整理

⇒敷地①・②において、高さ制限や日影規制等を満たす建物配置について、あらためて検討

※敷地③は、工事ヤードや仮設 駐車場・駐輪場として利用

(2) 基本構想プランの確認 (ゾーニング等)

(3) 複合化対象施設の設計条件の整理

(4) 各種調査の実施 (現況調査、アスベスト調査、地質調査等)

(5) 防災機能についての整理

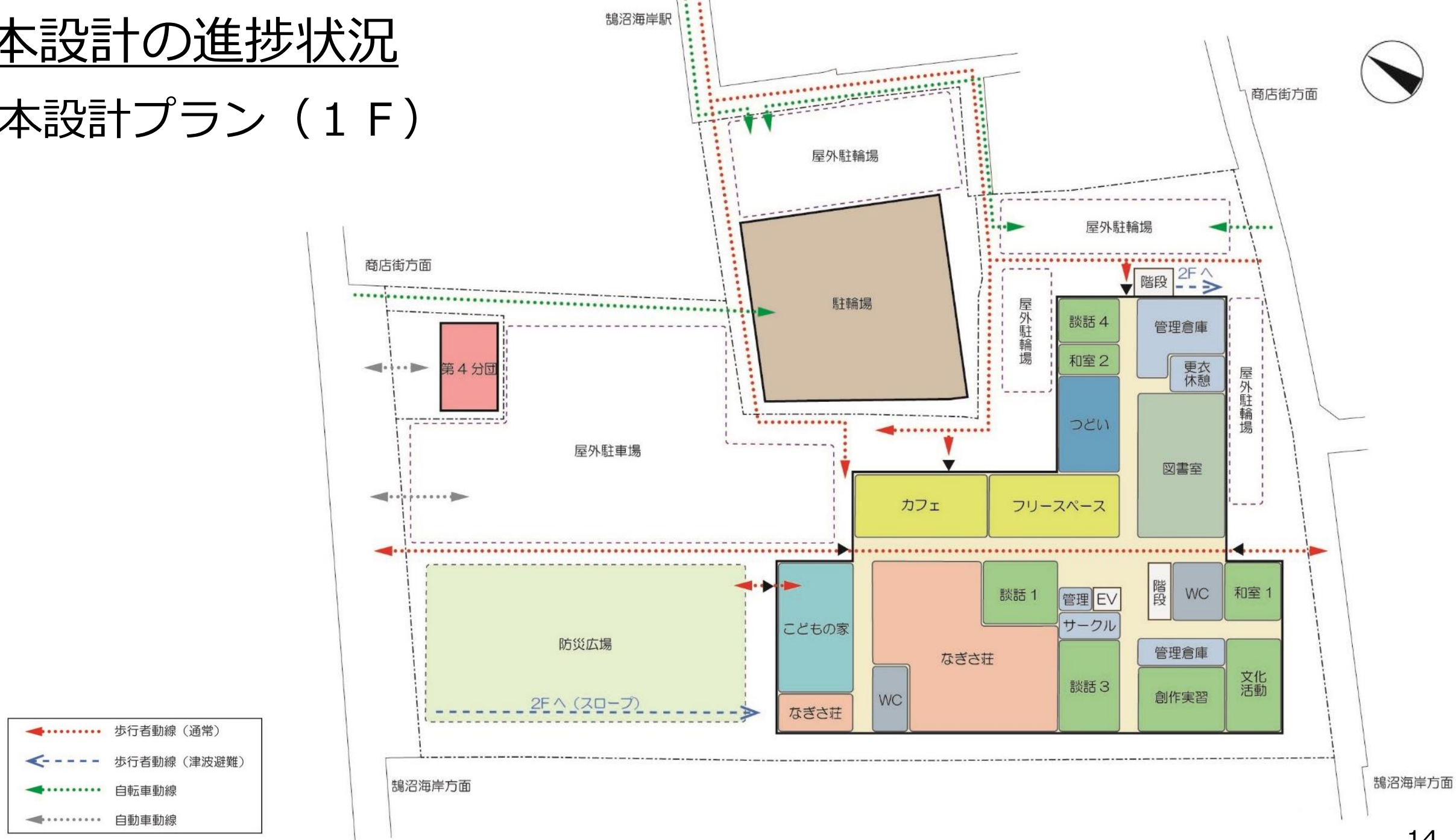


これらの設計条件の整理を行ったうえで、基本設計プランを作成



基本設計の進捗状況

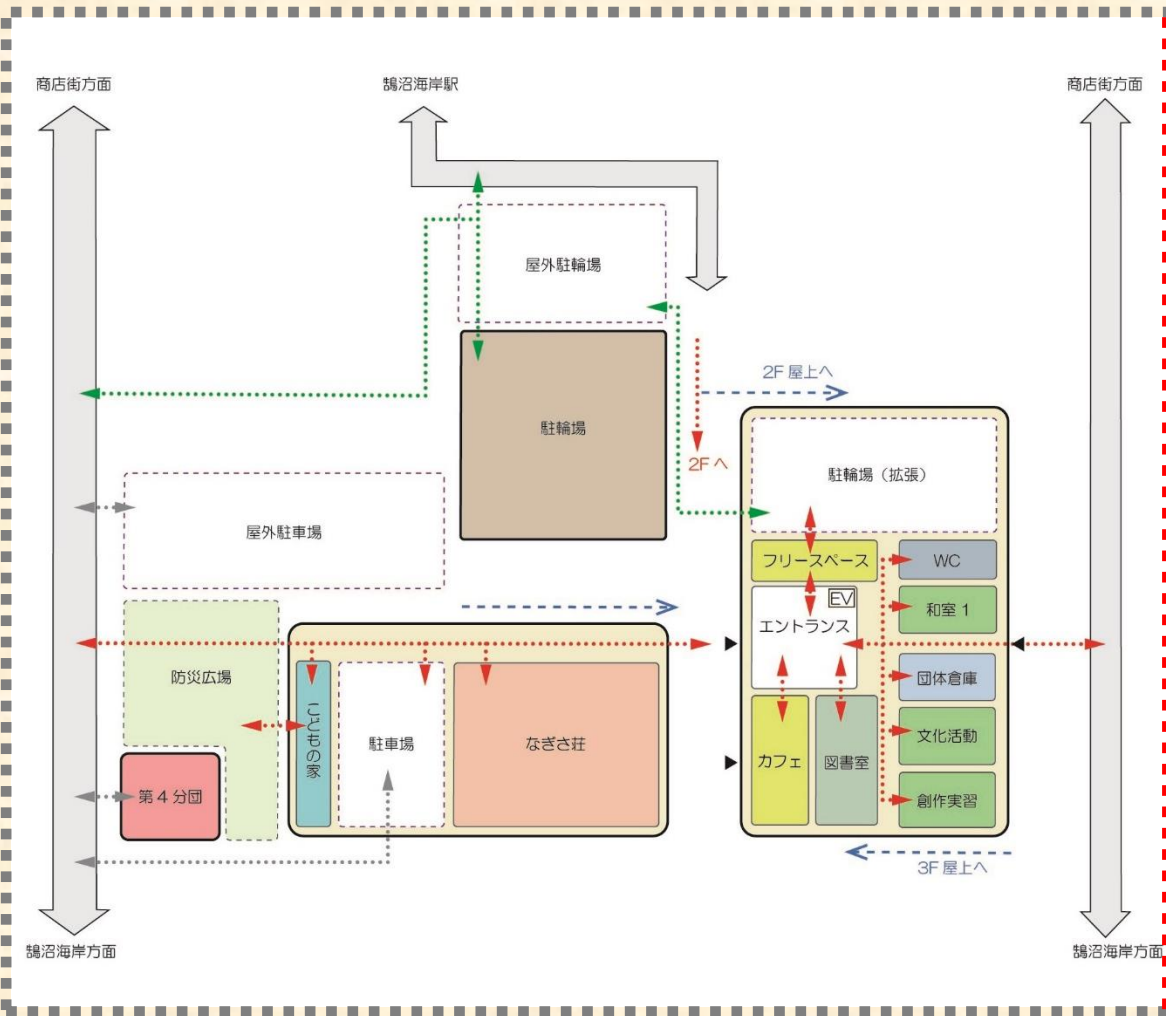
基本設計プラン（1 F）



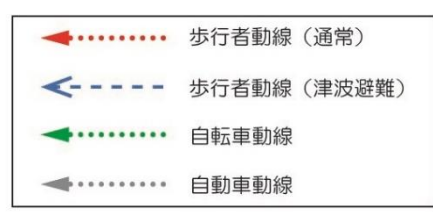
基本設計の進捗状況

基本構想プランと基本設計プランの比較（1 F）

基本構想



基本設計



基本設計の進捗状況

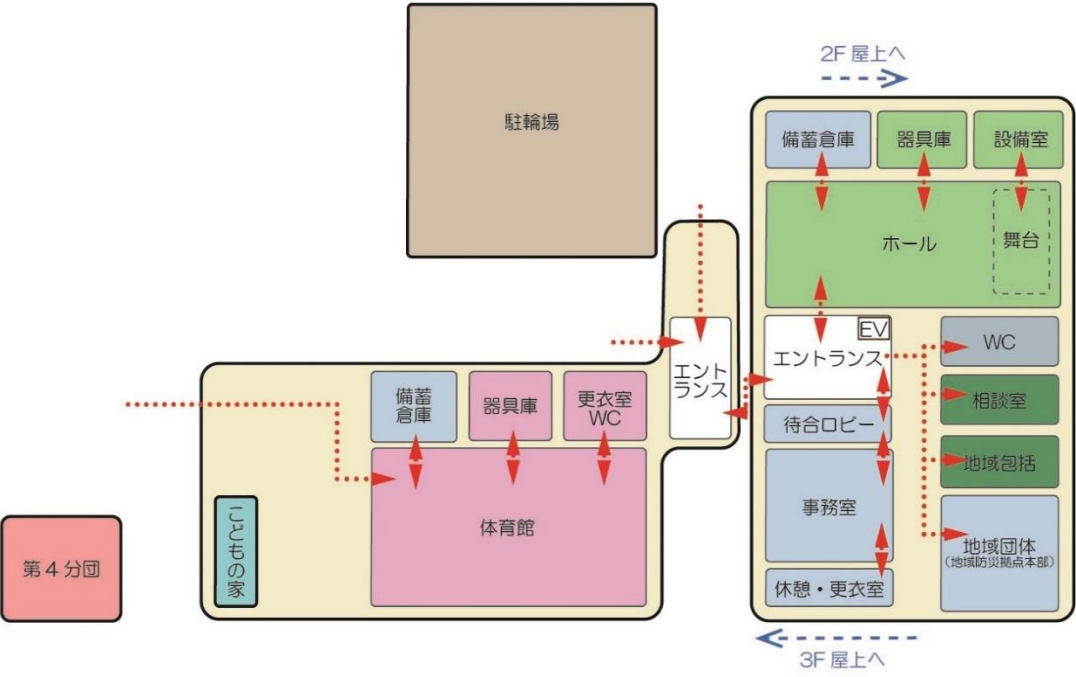
基本設計プラン（2 F）



基本設計の進捗状況

基本構想プランと基本設計プランの比較（2 F）

基本構想



基本設計

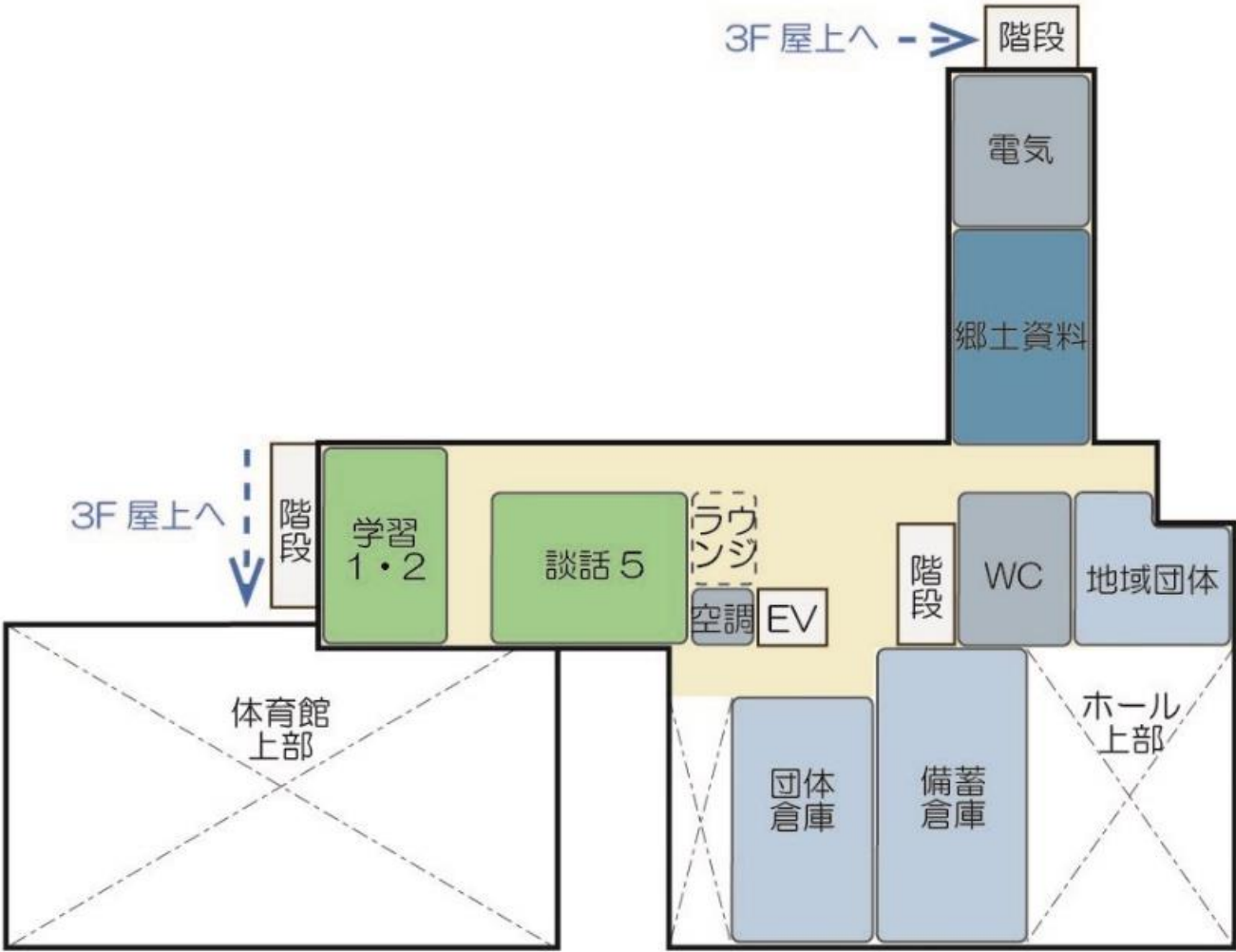
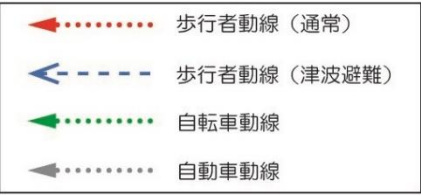


Legend for movement lines:

- 歩行者動線 (通常) (Red dotted line with arrow)
- 歩行者動線 (津波避難) (Blue dashed line with arrow)
- 自転車動線 (Green dotted line with arrow)
- 自動車動線 (Grey dotted line with arrow)

基本設計の進捗状況

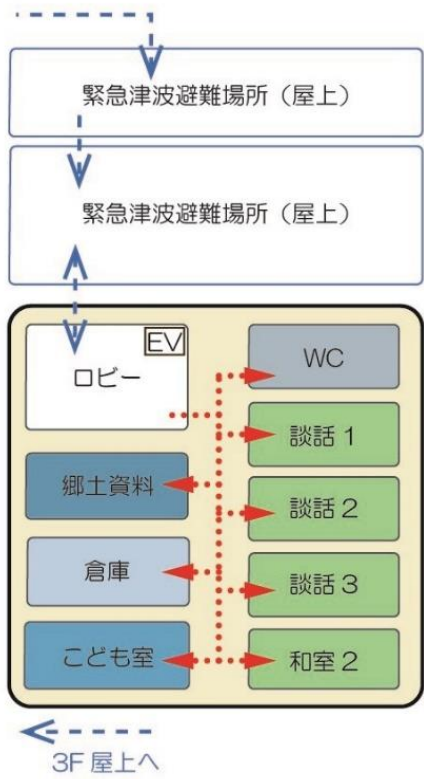
基本設計プラン（3 F）



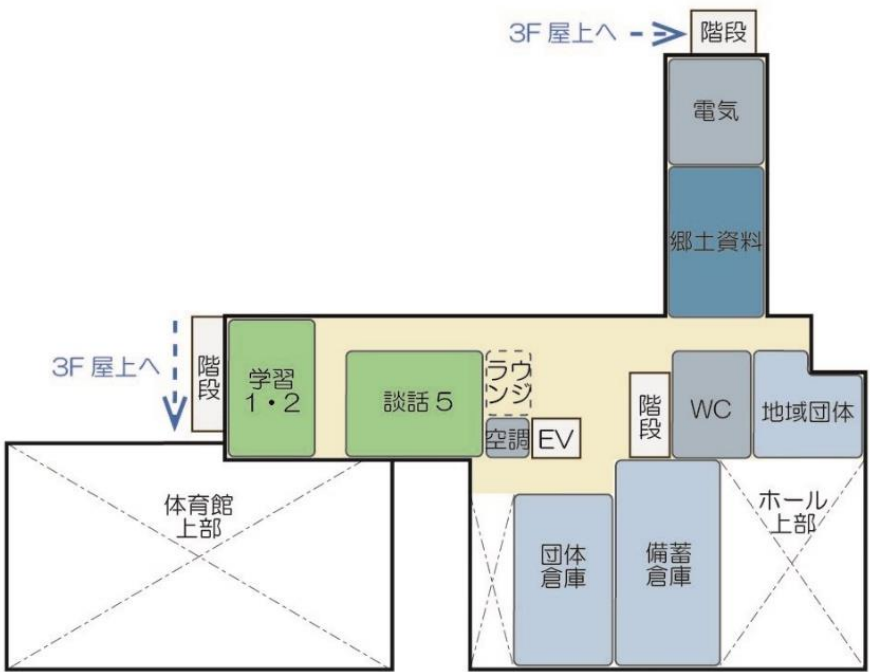
基本設計の進捗状況

基本構想プランと基本設計プランの比較（3 F）

基本構想



基本設計



基本設計の進捗状況

鵜沼海岸駅側上空から見た鳥瞰図



基本設計の進捗状況

建物北側外観図



基本設計の進捗状況

室内イメージ（1階 カフェスペース①）



基本設計の進捗状況

室内イメージ（1階 カフェスペース②）



基本設計の進捗状況

室内イメージ（1階 カフェカウンター）



基本設計の進捗状況

室内イメージ（1階 カフェテラス）



基本設計の進捗状況

室内イメージ（1階 工芸室・湘南なぎさ荘）



基本設計の進捗状況

室内イメージ（2階 待合ロビー）



基本設計の進捗状況

室内イメージ（2階 事務室・受付カウンター）



基本設計の進捗状況

室内イメージ（2階 事務室・執務スペース）



基本設計の進捗状況

室内イメージ（2階 体育室）



基本設計の進捗状況

室内イメージ（2階 ホール）



基本設計の進捗状況

室内イメージ（2階 談話室2）



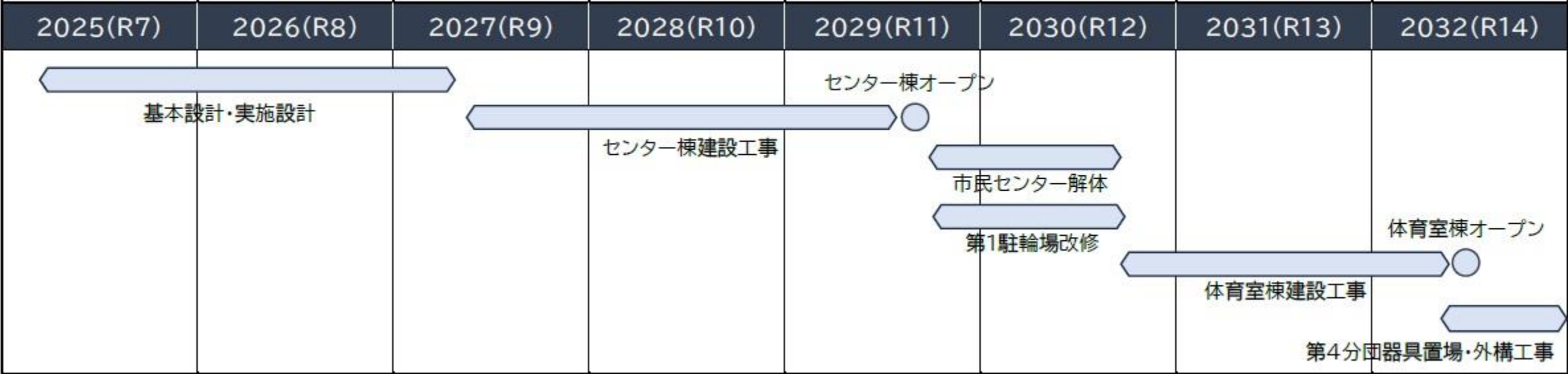
基本設計の進捗状況

室内イメージ（2階 ギャラリースペース）



今後のスケジュール

事業スケジュール



- 令和 7 ～ 9 年度 基本・実施設計
- 令和 9 ～ 1 1 年度 第 1 期工事（センター棟建設工事） ⇒ センター棟オープン
- 令和 1 1 ～ 1 2 年度 センター既存建物解体工事、駐輪場改修工事
- 令和 1 2 ～ 1 4 年度 第 2 期工事（体育室棟建設工事） ⇒ 体育室棟オープン
- 令和 1 4 年度 外構工事等